

■コメント

1. 腸管出血性大腸菌感染症

1件の報告があり(O121)、今年の累計は29件となりました。

腸管出血性大腸菌は、熱には弱いですが、感染力が強く、わずか数十個でも感染すると考えられていますので、手洗いの励行に心がけるとともに、生肉などの食品の取扱いには十分注意する必要があります。

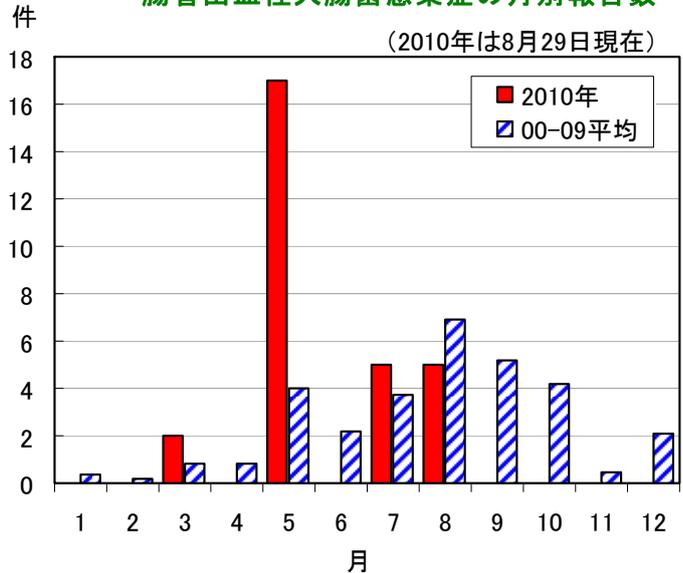
2. 咽頭結膜熱

定点当たり0.71人と多い状態が続いています。中区2.7人となっています。

3. 流行性耳下腺炎

定点当たり1.25人と多い状態が続いています。

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平過均去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平過均去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	-	-	0.26		ヘルパンギーナ	10	0.42	1.25	
咽頭結膜熱	17	0.71	0.36	⇒	流行性耳下腺炎	30	1.25	0.96	⇓
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	0.38	0.47		RSウイルス感染症	2	0.08	0.05	
感染性胃腸炎	71	2.96	3.32	⇒	急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	12	0.50	0.55	⇓	流行性角結膜炎	4	0.50	1.43	
手足口病	13	0.54	0.62	⇓	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	3	0.13	0.24		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.11	
突発性発しん	14	0.58	1.06		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.11	
百日咳	4	0.17	0.08		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇨ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	6	160	男性(50歳代)・1人、男性(60歳代)・2人、女性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・2人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	29	男性(20歳代)・O121
5	後天性免疫不全症候群	1	18	男性(30歳代)・感染者

## ■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
			報告数	広島市	第30週	-	16	4	81	22	35	5	14	2	42	58	1	-	8	1
		第31週	-	18	13	59	19	28	7	19	1	46	46	-	1	7	-	1	2	-
		第32週	3	20	2	48	13	20	2	15	3	16	25	2	-	6	-	-	2	-
		第33週	-	18	4	73	22	16	7	16	1	8	53	6	-	8	-	-	4	-
		第34週	-	17	9	71	12	13	3	14	4	10	30	2	-	4	-	1	-	-
定点当り	広島市	第30週	-	0.70	0.17	3.52	0.96	1.52	0.22	0.61	0.09	1.83	2.52	0.04	-	1.00	0.14	-	-	-
		第31週	-	0.75	0.54	2.46	0.79	1.17	0.29	0.79	0.04	1.92	1.92	-	0.13	0.88	-	0.14	0.29	-
		第32週	0.08	0.83	0.08	2.00	0.54	0.83	0.08	0.63	0.13	0.67	1.04	0.08	-	0.75	-	-	0.29	-
		第33週	-	0.75	0.17	3.04	0.92	0.67	0.29	0.67	0.04	0.33	2.21	0.25	-	1.00	-	-	0.57	-
		第34週	-	0.71	0.38	2.96	0.50	0.54	0.13	0.58	0.17	0.42	1.25	0.08	-	0.50	-	0.14	-	-
	全国	第32週	0.04	0.27	0.46	2.40	0.71	1.62	0.26	0.56	0.03	1.88	1.13	0.07	0.02	0.62	0.02	0.07	0.34	0.04
		第33週	0.03	0.27	0.49	2.74	0.63	1.34	0.34	0.66	0.04	1.32	1.20	0.07	0.01	0.81	0.02	0.06	0.33	0.05

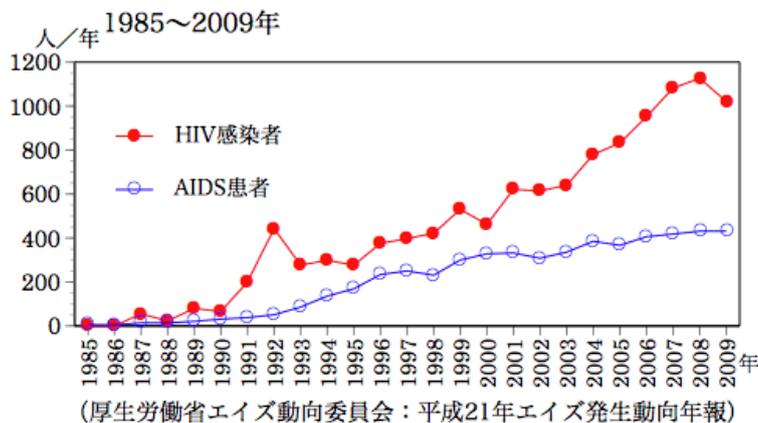
## ■新たに判明した病原体検出状況

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の消化器疾患(腸重積症)	0	男	2010/07/18	糞便	パレコウイルス1型
無菌性髄膜炎	8	男	2010/07/14	糞便 鼻汁(拭い液)	エコーウイルス25型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

## ■全国におけるHIV感染者およびAIDS患者の年次推移(1985~2009年)

図1. HIV感染者およびAIDS患者の年次推移, 1985~2009年



(厚生労働省エイズ動向委員会：平成21年エイズ発生動向年報)



1. 2009年に新たに報告されたHIV感染者は1,021(男965、女56)で、2008年(1,126)、2007年(1,082)に次ぐ過去3位の報告数であった。AIDS患者は431(男407、女24)で、過去最高であった2008年と同数であった

2. 2009年にHIV感染者が届け出られた都道府県別では、東京(374)、大阪(171)、神奈川(57)、愛知(54)、福岡(38)、千葉(34)、兵庫(31)、埼玉(27)、広島(24)、北海道(23)の順で、人口10万対報告数では東京(2.91)、大阪(1.94)、沖縄(1.09)、広島(0.84)、山梨(0.80)、福岡(0.75)、愛知(0.73)、神奈川(0.64)、千葉(0.56)、兵庫(0.55)の順に多かった。

病原微生物検出情報<特集>HIV/AIDS 2009年(国立感染症研究所感染症情報センター Vol.31 p.226-227)から引用。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/shakai/eiken/center.html>

### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp